

お子さんの楽しい学校生活のために すくてくシートを使ってみませんか

八王子市では、幼児教育・保育施設に通っているお子さんが、小学校入学後も楽しく学校生活を過ごせるように、「すくてくシート」をご活用いただいています。

幼児教育・保育施設での生活や集団で活動するときに、個別的な対応が必要なお子さんが小学校に入学した際に、その子の特性を理解した上で、個別的な対応が継続されることが大切です。

入学時にちょっとした配慮がされることで、お子さんの学校生活は過ごしやすくなります。小学校の担任の先生と、学校でどんなことができるか、一緒に考えていけるといいですね。

来年の春、お子さんが小学校に入学されるにあたり、心配なことや伝えたいことがあったら、ぜひ「すくてくシート」をご活用ください。



すくてくシートを
利用されるにあたって

- ◆シートは、全員が提出するものではありません。
(シートを使ってみたいとお考えの方は、園長先生か園の担任の先生にご相談ください)
- ◆記載される内容はお子さんやご家族にとって重要な個人情報ですので、作成から活用まで適切に管理しています。また、目的以外の使用はいたしません。

- 学校でどのように使われているの？
- 使うことでデメリットはあるの？



担任がこどもの様子を詳しく知ることができ、対応方法や手立てを事前に考えることができます。また、保護者の考えや意向も聞けるきっかけになっています。

シートの目的は、園で行っていた個別的な対応を小学校へつなげることです。デメリットはありません。使うことを迷われている方は、気兼ねなく活用し、提出してください。



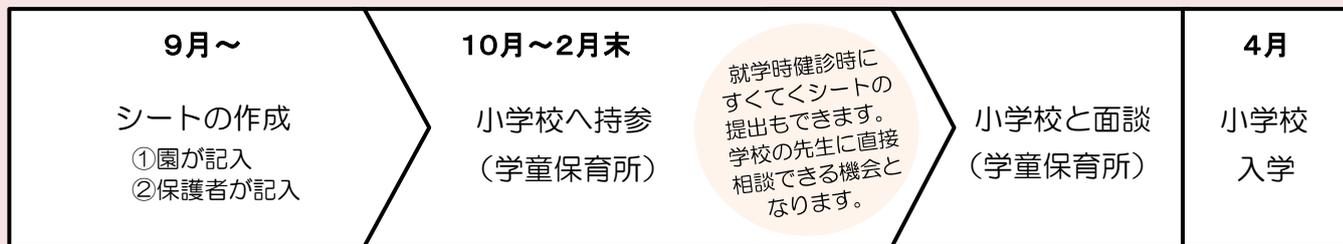
小学校の先生より

利用された 保護者の声

就学への不安がとれました。

こどものことを理解してもらえてよかったです。また、改めてこどもの特性を知るきっかけになりました。

シート作成と流れ



• 園の先生に相談し、一緒に話し合って作成してみましよう。

• 園ですくてくシートのコピーをもらい、学校に持参します。

※ 事前に学校(校長または副校長)に連絡し、持参してください。

• 学童保育所に通われる場合は園でもう1部コピーをもらい、学童保育所にも提出しましょう。

• シートの原本は、マイファイルに保管しておきましょう。

「すくてくシート」に関するお問い合わせ

八王子市保・幼・小子育て連絡協議会
(事務局：八王子市子ども家庭部子どもの教育・保育推進課) まで
電話：042-673-3707

記入例

このように記入していただきます（全ての項目を書かなくてもかまいません。お子さんに必要と思われる対応を小学校にお伝えください。）

保護者から(「園から」を讀んで記入)		お子さんの お名前 八王子 太郎	ふりがな 八王子 太郎
生活の様子			
好きなこと 得意なこと (遊び・生活)	・テレビゲーム ・買い物の手伝い ・ペットの世話 ・絵本を読むこと		
苦手なこと (遊び・生活)	・運動 ・制作など物を作ること ・家族以外の人と話すこと		
気をつけていること			
遊びの中で	・公園に行ったり、歩いたり、なるべく身体を使う遊びをするようにしています。 ・コミュニケーションが苦手なため、休日もお友だちと遊ぶ約束をして、他の子と関りをもつようにしています。		
日常生活の中で	・新しいことを始めるときに、先にあきらめてしまうことがあるので、励ましてチャレンジできるようにしています。 ・自分でできそうなことは、時間がかかっても、自分でできるような見守るようにしています。		
その他気をつけていること	・一度にいくつも指示をしようとして混乱してしまうので、一つずつ伝えるようにしました。最近では、これが終わったら、これ!というように、二つくらいは、指示が入るようになりました。		
これまでのお子さんの様子について相談に行った機関とその内容			
元本郷療育センター:発達に関する相談と、センターのグループ活動に参加して、お友だちとのコミュニケーションや、ルールを守って遊ぶ楽しさを体験させていた だいています。			
健康、身体面について伝えたいこと			
特に健康面で問題はありませんが、手先の力が弱く、鉈を使うなどの細かな作業が苦手です。			
その他、保護者から学校(学童保育所)へ伝えたいこと			
・基本的には気持ちの優しい子ですが、自分の気持ちをうまく表現できないことがあります。 そのこと起因していらだたってしまうため、友達との関係がうまく行くか心配しています。 ・全体的に行動がゆっくりなことで、初めての環境になじむまでに時間がかかると思っています。 ・授業の際には、先生の話が聞きやすい、前の方の座席にしていたければと思います。			

園から(最初に記入)		園 施設名 散田保育園
生活の様子		
好きなこと 得意なこと (遊び・活動)	バスル、ブロック、おもちゃの電車、自動車を使った遊び	
苦手なこと (遊び・活動)	はさみ、のりを使った制作などが苦手なため、個別に関わるようにしました。 やりたくないときには、その気持ちを受け止め、意欲が高まったときに個別に行うようにしました。	
保育の中での個別の対応と工夫		
活動の中で	全体への言葉かけで、理解できずに不安そうな表情を見せるときには、個別に話をするようにしました。また、何かができたときには、必ず嬉しい気持ちを共感し、自信に繋げるようにしました。	
遊びの中で	友だち関係で、うまく相手に要求を伝えられず、イライラしてしまうことがある。その際には、本人の気持ちを聞き取り、言葉での伝え方を知らせるなど、仲介するようにしました。	
日常生活の中で	身支度などの流れは理解できているが、一日単位では何をやるのが戸惑うことがある。先の見通しが立てられるように、絵や写真を使って流れを示すようにしました。	
幼児教育・保育施設の担任から学校(学童保育所)へ伝えたいこと		
(上記の内容以外で特に伝えたいこと、補足したいこと、など)		
・初めのうちは、一日のスケジュールが目で見えてわかるように示すと、見通しをもって過ごせると思われる。 ・成長とともに集団での関りが持てるようになってきた。友だちとの関りの中でトラブルがあったときには、本人の気持ちを受け止めながら、気持ちを言葉で伝えるような促しがあると良い。		